

業界で初めて※<sup>1</sup>1社で光の三原色(赤色・緑色・青色)の半導体レーザーの提供が可能に

## 緑色半導体レーザーの量産を開始

シャープは、ディスプレイ光源に適した緑色半導体レーザーの2モデル<GH05130B2G/B5G>の量産を、本年11月より開始します。

半導体レーザーは、ブルーレイやDVDなどの光ディスクのデータの読み取り/書き込みやバーコードリーダーのスキャナーなど、様々な機器に搭載されています。最近では、プロジェクターの光源など、映像分野にも活用の幅が広がっています。

今回、当社は緑色レーザーがラインアップに加わることで、業界で初めて、1社から光の三原色(赤色・緑色・青色)の半導体レーザーを提供することが可能となります。お客様のご要望により光の強さやレーザー光の形状などの光学特性や、電流値などの電気特性の調整に応じることで、開発期間の短縮や調達業務の負荷軽減に貢献します。

本緑色レーザーは波長515nm、光出力30mWを実現。標準タイプの直径5.6mmとコンパクトな直径3.8mmの2種類の金属パッケージを揃えました。市場が拡大する小型プロジェクターやヘッド・アップ・ディスプレイ(HUD)<sup>※2</sup>、ヘッド・マウント・ディスプレイ(HMD)<sup>※3</sup>などの光源として、お客様の多様なご要望に対応してまいります。

なお、本製品は、10月4日(水)～6日(金)に幕張メッセ(千葉県美浜区)で開催される光技術の国際展示会「InterOpto 2017」に出展します。

品名	緑色半導体レーザー
形名	GH05130B2G(φ5.6 TO-CAN <sup>※4</sup> )/GH05130B5G(φ3.8 TO-CAN <sup>※4</sup> )
サンプル価格(税込)	10,800円
サンプル出荷開始日	2017年10月20日
量産時期	2017年11月中旬
月産台数	1,000,000台

### ■ 主な特長

1. ピーク発振波長515nm、光出力30mW
2. 標準的な直径5.6mmの金属パッケージに加え、小型化のニーズに応える直径3.8mm金属パッケージの2種類をラインアップ

※1 2017年9月19日現在、1社から量産・発売されている半導体レーザーにおいて。当社調べ。  
※2 HUD: Head Up Display(車のフロントガラスなどに情報を表示するディスプレイ。)  
※3 HMD: Head Mount Display(頭部に装着し、仮想空間などを表示するディスプレイ。)  
※4 φ5.6 TO-CAN: 直径5.6mm金属パッケージ、φ3.8 TO-CAN: 直径3.8mm金属パッケージ。

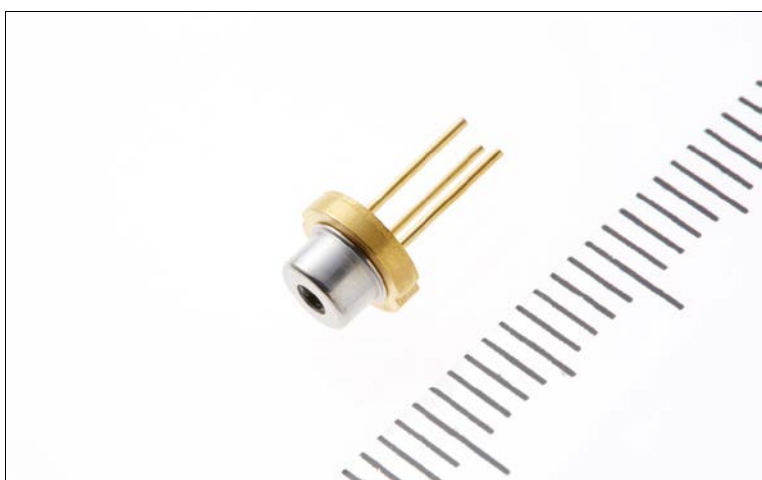
### 【お問い合わせ先】

お客様: 電子デバイス事業本部 レーザー事業部 企画部(084)940-1920

■ 仕 様

項 目		条 件	特 性 値 <sup>※5</sup>
しきい値電流 (TYP.)		-	70 mA
動作電流 (TYP.)		光出力=30mW	150 mA
動作電圧 (TYP.)			6.3 V
ピーク発振波長 (TYP.)			515 nm
ビーム広がり角 (TYP.)	平 行		7.5°
	垂 直		22°

※5 発売時には変更の可能性あり



シャープ 緑色半導体レーザー<GH05130B2G (φ5.6 TO-CAN)>



シャープ 緑色半導体レーザー<GH05130B5G (φ3.8 TO-CAN)>